

事業所名

多機能型事業所いくま

## いくま放課後等デイサービス 支援プログラム

作成日

令和7年

2月

13日

法人（事業所）理念		利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切かつ効果的な支援の提供を行う。						
支援方針		個々の成長に合わせながら季節感をはじめとした様々な感覚が得られる活動やリラクゼーション活動を提供する。 また、賑やかな雰囲気や集団生活で育まれる協調性と、興味や好みに応じた個別の対応を織り交ぜながら心身の発達を促す。						
営業時間		8 時	30 分から	17 時	15 分まで	送迎実施の有無	あり ※要相談	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	学校やご家族からの申し送りやバイタルチェックや様子観察をもとに活動への参加の仕方を決めていく。 発作や筋緊張、強い疲労感がある場合は、安楽な姿勢やマッサージなどリラクゼーション活動へ移行し快適に過ごすことができるよう支援する。						
	運動・感覚	様々な活動を通して感覚に働きかける。また、経験を積み重ねていくことでパターン化した生活動作や発声を誘いかけていくなど身体的、精神的な発達を促していく。 個々の特性に応じた安楽な姿勢や側弯・拘縮の予防を目的としたポジショニングやストレッチを取り入れていく。						
	認知・行動	活動や生活を通して、言葉とそれが示す場所や物、動作が理解できるよう支援していく。						
	言語 コミュニケーション	物事を発声や視線、ジェスチャーなどで選ぶことができたり、意思を表現できるよう支援する。また、できる表現と意味が一致しサインとして確立していくことも目指していく。						
	人間関係 社会性	物のやり取りなど簡単なことから人と関わることの経験を重ねていき楽しさや安心感が得られることを目指す。 活動や生活を通して順番を待つなどの関係性や社会的ルールにを経験し認識していけるよう支援する。						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な申し送りや連絡ノートでのお知らせで情報の共有を図る。</li> <li>・定期的な面談を通して子育てや支援の相互理解や統一を図る。</li> <li>・参観日や行事への参加を呼び掛け保護者の集う場、交流の場とする。</li> </ul>			移行支援	卒後の生活について、相談員をはじめとした関係機関との情報の共有を図る。必要に応じて合同支援会議を開催し支援の統一を図る。		
地域支援・地域連携		担当相談員や併用の事業所などの関係機関と連絡をとり、時には合同支援会議を開催するなど保護者の思いに寄り添った支援の統一を図る。			職員の質の向上	職員の内部、外部への各種研修会への参加。 支援を振り返り改善点や反省点などを話し合う職員会を実施。		
主な行事等		・誕生日会・参観日・屋外活動・クリスマス会・成人式・育了式						